

祭神 木華開耶姫命

神位 文德天皇仁壽三年七月甲午以駿河國淺間神一領於

名神二玉實特加駿河國淺間大神從三位一清和天皇貞觀元年

正月二十七日甲申奉授駿河國從三位淺間神正三位一

官幣 光孝天皇仁和三年四月六日巳酉分遣使者奉幣駿

河國淺間明神社

祭日 十一月初申日

社格 國幣中社

所在 富士山麓大宮町(富士郡大宮町官幣大社淺間神社)

富知神社

祭神 大山祇命

祭日 十一月中申日

社格

所在 大宮町字福(富士郡大宮町大字大宮町)

今按一説に常社は傳法村なる六所淺間社なるべし彼社邊に大淵村鵜无淵村と云地名あり又田畑の字にもなこの淵くれの淵と云がありと云り又一説に富士川今の水筋よりは東を流れしよし里人云れば今泉村吉原驛のあたりは古淵にてありしならん然れば其淵邊にある神社なるを以て富知神社と云しならん六所淺間社古社にて社傳にも式社の由云ればこれならんと云れどふらと云事の證のみなれば如何あらん姑附て考に備ふ

○駿河郡二座 並小

丸子神社(明細帳になし)

祭神

今按社傳祭神國常立命金山彦命とあり金山彦は惣國風土記の説なれば信難し國常立命と云も疑はし麻呂古王の御名に由ありけなれど此國には此王の由縁なし故考ふるに九子はわにこと訓しを後に字によりてまりこと訛り神階帳にも麻留天神など云りしなるべし新撰姓氏錄に和仁古大國主神六世孫阿太賀田須命之後也とあれば祭神疑ふらくは大國主神ならん姑附て考を俟つ

祭日 三月十五日六月十七日

社格 郷社(明細帳駿東郡沼津)

所在 沼津本町 今屬駿東郡(駿東郡沼津町大字)

桃澤神社

祭神 建御名方命

祭日 一月九月並八日

社格 村社

所在 元長津村字西山 今屬駿東郡(駿東郡長津村大字元長津)

今按この社今は本村の産土愛鷹社の相殿にませり石燈籠四基ありて二基は愛鷹社の銘二基は桃澤社の銘あり證とすべし

特選神名牒

伊豆國九十二座 ○今靜岡縣管下

大五座

小八十七座

○賀茂郡四十六座 小四十二座

伊豆三島神社 名神大月

次新嘗

祭神

深云祭神事代主命に定められたと大に誤れる説なり古來の

今按伊豆國式社改證に祭神は積羽八重事代主命にして神代より本州鎮座と聞えたりと云て種々考證したれど明證あるにあらず此社の祭神の事は二十二社本縁に伊豆國賀茂郡を坐す三島乃神伊豫國に坐す三島乃神同體矣坐す云々源親行の記行にも伊豫の國三島大明神をうつし奉る源平盛衰記にも伊豆國三島社に若給り此宮は伊豫の三島を奉祀也とみえ釋記又日本紀纂疏にも大山祇神の下に伊豆國三島神社と云ひ一宮記にも同神を祭ると云ひ式帳に伊豫國越智郡大山積神社とある社を大三島ノ神と申し伊豫風土記に乎智郡御座神御名大山積命一名和多志大神也とあるにて古へより大山積命と傳へたるを近來八重事代主命

波布比賣命神社 稱羽部天后大明神

祭神 波布比賣命

今按この波布比賣命は神系詳かならねど下條に引る三宅記の文によるに三島神の后神にまして御子二所おはしましつと見えたり

神位 文德天皇仁壽二年十一月丙子加三伊豆國波布比賣命神從五位上 今按齊衡元年六月巳卯同位階を授ることあるは神從五位上 何れか衍文なるべし故今本文を存して彼を翻る

祭日 十一月中酉日

社格 (郷社)

所在 大島波布港(伊豆大島波浮港)

を祀れる由云出たるは甚しき誤り也故今取らず

神位 淳和天皇長九年五月庚戌三島神預名神一引日本紀

後 文德天皇嘉祥三年十月辛亥授伊豆國三島神從五位上

今按齊衡元年六月巳卯同位階を授ることあるは 清和天皇貞觀元

年正月廿七日甲申奉授伊豆國從四位下三島神從四位上

六年二月二日壬戌授伊豆國從四位上三島神正四位下 十

七月二十七日戊午授伊豆國正四位下三島神從三位

祭日 八月十六日

社格 官幣大社

所在 三島町 今屬君(田方郡三島町)